

Y邸でオープンハウス

1級建築士事務所スタジオ・シンフォニカ

入れ子構造と30mの回遊動線

建築家・島中秀幸氏が主宰する1級建築士事務所スタジオ・シンフォニカ（札幌）が設計監理を手掛けた個人住宅「Y邸」が札幌市内に完成し、このほどオープンハウスが

開かれた。

住宅内に小箱のような空間を持つ「入れ子構造」と、30坪ほどの小住宅ながら長さ30坪にもなる一

筆書きの回遊動線が特徴。

敷地は札幌市南区石山の平岸通沿い。住宅の四隅に設けた開口部から

は、公園の木々や車道など異なるタイプの風景が見える。

地主が楽器演奏を楽しむことから、客席にもなるスキップフロアを用意した。

入れ子を取り囲むように設けられた回遊動線は風景の見え方や空間の質感が変化と陰影に富み、広場や路地のようなスペースが連なる。

島中氏は「風景と光の質の移り変わりが重要なテーマで、建物の中を積極的に歩かせることで生活のシーンが固定化しない」と話す。

施工は板垣建設が担当した。

外装はガルバリウム鋼板の上に目線を隠すための羽目板を張った

